

川越市
まち・ひと・しごと創生
総合戦略

川 越 市

目次

1. なぜ、まち・ひと・しごと創生なのか	1
（1）人口減少と地域経済縮小の克服に向けて	1
（2）なぜ、川越市でまち・ひと・しごと創生なのか	2
2. 総合戦略をどう進めるか	3
（1）総合戦略の位置づけ	3
（2）総合戦略の計画期間	4
（3）総合戦略の策定体制とPDCAサイクル	4
3. 川越の今と未来	5
（1）川越市の特性	5
（2）将来都市像	9
（3）4つの戦略	10
4. 川越が取り組むこと	11
戦略1 川越でしごとをする	12
プロジェクト1 しごと暮らし 川越	14
プロジェクト2 ものづくり長屋 川越	16
プロジェクト3 健康食レストラン 川越	18
戦略2 川越で育てる	20
プロジェクト4 縁結び 川越	22
プロジェクト5 すくすく かわごえ	24
戦略3 川越を活かす	26
プロジェクト6 蔵人ファンド 川越	28
戦略4 川越を遊ぶ・感じる	30
プロジェクト7 キテミル KAWAGOE	32
プロジェクト8 蔵 in ガルテン 川越	34
資料	37

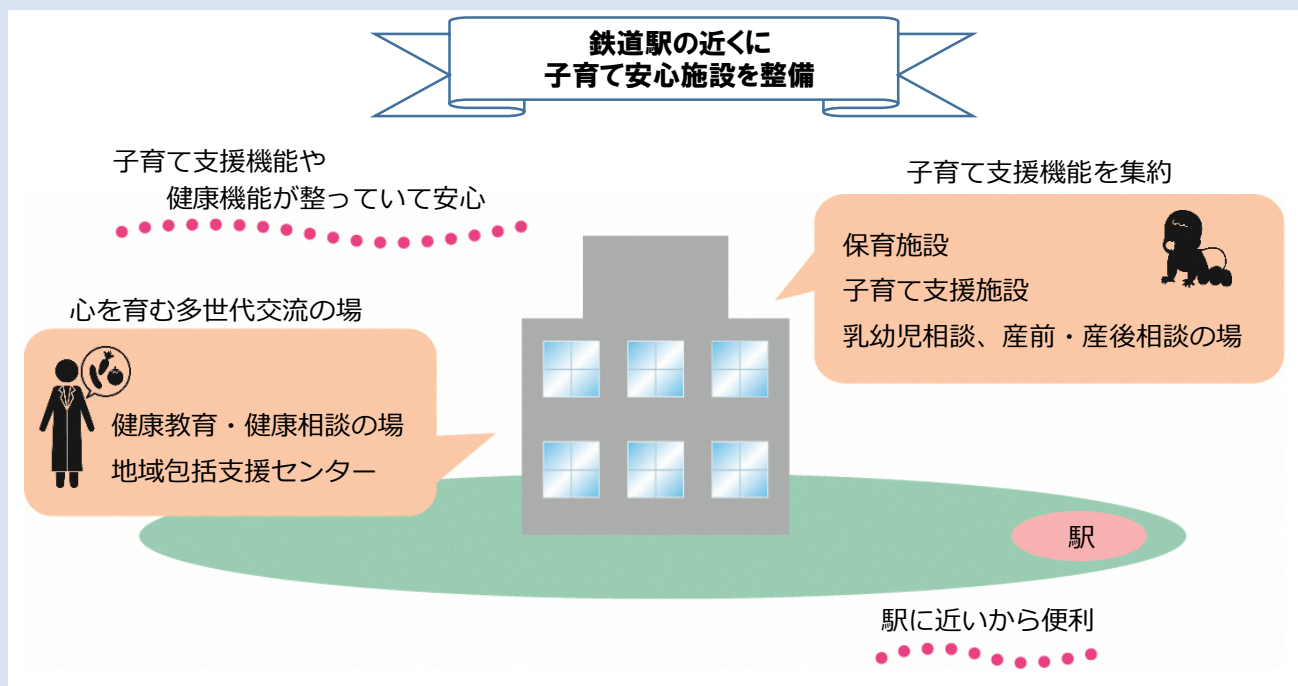
すくすく かわごえ

子育て世代を支える安心の拠点づくり

ねらい：

これからのまちづくりに必要な都市機能の集約や、子育て世代の埼玉都民の利便性を高めるため、駅周辺に子育て安心施設を設置します。保育機能や相談機能とともに、子育て世代を中心に多世代が集う場の充実を図ります。

■プロジェクト概要図



■プロジェクトの効果と重要業績評価指標(KPI)

<プロジェクトの効果>

駅周辺に子育て安心施設を設置することにより、働いている子育て世代を含め、すべての子育て世代にとって子どもを育てやすい環境を整えます。

<重要業績評価指標(KPI)>

重要業績評価項目	実績値 (H26)	目標値 (H31)
保育園待機児童数 (人/年)	74	0
地域子育て支援拠点事業の利用者数 (人/年)	69,361	108,105

■具体的施策

①子育て安心施設の整備

通勤等で電車を利用する子育て世代の利便性を高め、安心して子育てができるよう、駅周辺に保育機能を併せ持つ子育て支援施設を整備します。施設では育児不安や孤立感を解消するための各種相談を行うとともに、さまざまな世代間の交流ができる場を提供します。

- (1) 保育機能
- (2) 子育て支援施設
- (3) 乳幼児相談、産前・産後相談の場
- (4) 健康教育・健康相談の場
- (5) 地域包括支援センター

■スケジュール

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
子育て安心施設の整備	施設設計		施設建設		保育及び各種相談実施



■関連施策

①産前・産後サポート事業

家庭や地域での孤立感や不安感を解消するとともに、必要な情報を正しく入手できるよう、助産師・保健師等による相談支援を行います。また、育児サポーターの養成等による家事援助や医療機関との連携による産後ケアなど、きめ細かい育児支援を行います。

②第三子及び多胎児産前産後ヘルパー派遣事業

第三子以降の子や多胎児の妊産婦に対して、家事や育児の負担を軽減するためのヘルパーを派遣し、多子世帯となる家庭を支援します。

③地域における保育環境等の充実

市内の保育施設等に対し絵本の配布を行うとともに、絵本を題材とした人形劇等の観劇会を実施し、本に興味を持つきっかけづくりを行います。